

ISS200 日本の伝統文化入門

2年 3,4クォーター

担当教員 Walter Tsushima

授業形態 演習

アクティブ・ラーニング アクティブ・ラーニング科目

単位数 2

曜日・時限 木曜日・3時限

授業概要

このコースでは文学、美学、宗教、歴史、人類学、それらを越えた分野を横断する様々な視点から日本の伝統と文化について考察する。日本の伝統と文化の様々な態様をリーディング、講義、批判的ディスカッション、デモンストレーション、映像メディアを通じて探究する。このコースでは、学生自身の日常の経験を通して日本の文化や伝統を解釈したり、再発見したりすることによって定性的な研究能力を伸ばす機会を提供する。

到達目標

学生は以下のことを行う

1. 日本独自の文化的・歴史的な特徴を関連付け可能な文脈で見る。
2. 日本社会の基本構造の歴史的発達を学ぶ。
3. 日本の伝統と文化に基づく複雑な考えと思想を分析する。
4. 日本の伝統と文化の諸側面について個々に研究を実施し、その考察結果を発表する。

教科書・参考資料等

資料は毎週配付する。

講義の方法

このコースはワークショップ形式をとり、クラス活動への積極的な参加が必要となる。毎週担当教員が新しいトピックを導入するきっかけを与え、学生はクラス内ディスカッションに加わるのが求められる。また、学生は学習日誌を付けて、少人数でグループワークを行い、学習内容についての意見を発表する。

授業の方法

出席と授業への貢献が強く求められ、評価の際に考慮される。課題と研究を着実にを行い、学習日誌を付けて、授業と授業の間に考えたことやその間の学習成果について自由記述することが必要となる。学習日誌は、各クォーターの最後に担当教員が評価する。各クォーターの最後の授業では、授業で議論した任意のトピックについてグループでプレゼンテーションを行う。

成績評価

- 25% グループプレゼンテーション
- 25% 課題と小テスト
- 25% 学習日誌
- 25% 出席とクラスへの貢献

授業スケジュール

- 1週目：導入
- 2週目：日本の伝統を仔細に観察する パート1
- 3週目：日本の伝統を仔細に観察する パート2
- 4週目：日本の食文化の起源と歴史
- 5週目：技術 - 日本の伝統技能
- 6週目：宗教 - 神道と禅
- 7週目：妖怪 - 日本民話における神話上の怪物と精霊

- 8 週目：グループ発表
- 9 週目：室町時代概説
- 10 週目：武士道 - 侍の道
- 11 週目：武道 - 日本の格闘技
- 12 週目：南蛮貿易と日本の西洋化
- 13 週目：江戸時代概説
- 14 週目：まつり - 日本の伝統の祭り
- 15 週目：伝統芸能 - 日本の伝統的な芸能
- 16 週目：グループ発表

事前・事後学習

- ・予習：参考図書の該当する章を予習してくること（1時間程度）。
- ・復習：授業内容を復習し、疑問点を整理すること（1時間程度）。